

授業科目名 科目コード	経済・経営の現場を知る 1 (Topics of Economy and Management 1) 371047-14-000					担当教員	栗井 英大 (クリイ ヒデヒロ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	後期
科目特性	地域志向科目／知識定着・確認型 AL／外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要

今後の学修の基礎となる経済・経営概念の解説を通じて、大学において学修・研究していく足がかりを提供することが本講義の主目的である。

本講義では主に国内・県内経済に関する題材をもとに、現実の経済活動、県内産業や特徴的な企業を取り上げ、紹介する。また、本講義を通じて、経済・景気の動き、県内産業の特徴や成り立ちのほか、本県には全国的にも有名な企業が多く存在することを学び、今後の研究のための基礎知識を蓄積し、問題意識を育てていただきたい。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

1 地域社会に貢献する姿勢／2 職業人として通用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

講義は、パワーポイントを活用し講義を行い、書き込み式の配付資料の空欄を学生自ら埋めていく方法で進める。また、講義冒頭では、記憶の再生、定着を促すために、前回講義の復習を行う。

正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。

日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「経済・経営の現場を知る 2」

⑤ テキスト（教科書）

テキスト指定なし。授業開始時にレジメを配布する。

⑥ 参考図書・指定図書

細野真宏（2003）『経済のニュースがよくわかる本 日本経済編』小学館
 大江英樹（2015）『知らないと損する経済とお金の超基本 1 年生』東洋経済新聞社
 新潟県統計課ホームページ「にいがた県統計ボックス」

その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。
⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 県内経済の産業構造を理解・説明することができる。 (ii) 県内の主要製造業とその製造品目を理解・説明することができる。 (iii) 県内の主要サービス業を理解・説明することができる。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 県内経済の産業構造の理解・説明	県内経済の産業構造等に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	県内経済の産業構造等に関して、資料等に頼らず説明できる	県内経済の産業構造等に関して、資料等を見ながら説明できる	県内経済の産業構造等に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	県内経済の産業構造等に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(ii) 県内の主要製造業とその製造品目の理解・説明	県内の主要製造業とその製造品目等に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	県内の主要製造業とその製造品目等に関して、資料等に頼らず説明できる	県内の主要製造業とその製造品目等に関して、資料等を見ながら説明できる	県内の主要製造業とその製造品目等に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	県内の主要製造業とその製造品目等に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(iii) 県内の主要サービス産業の理解・説明	県内の主要サービス産業とその製造品目等に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	県内の主要サービス産業とその製造品目等に関して、資料等に頼らず説明できる	県内の主要サービス産業とその製造品目等に関して、資料等を見ながら説明できる	県内の主要サービス産業とその製造品目等に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	県内の主要サービス産業とその製造品目等に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意	その他	合計

						欲		
総合評価割合	60%			30%		10%		100%
(i) 県内経済の産業構造の理解・説明	8%			4%		2%		14%
(ii) 県内の主要製造業とその製造品目の理解・説明	26%			13%		4%		43%
(iii) 県内の主要サービス産業の理解・説明	26%			13%		4%		43%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
新潟県の有力企業や産業の特徴を、より具体的に紹介していく。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	講義ガイダンス 産業分類の概要、景気とは？	講義の復習 新潟県の主要産業	120 分
2	農林水産業	講義の復習 新潟県内の農商工連携事例	120 分
3	鉱業・建設業	講義の復習 知的財産権	120 分
4	米菓製造業	講義の復習 米菓メーカー	120 分
5	製造業①（食品、繊維、製紙）	講義の復習 県内本社の上場企業	120 分
6	製造業②（化学、窯業、金属）	講義の復習 新潟県の伝統的工芸品	120 分
7	◆長岡市の製造業	講義の復習 長岡市の製造業の発展の歩み・特徴	120 分
8	製造業③（機械系・その他）	講義の復習 新潟県の製造業の強み	120 分
9	金融機関	講義の復習 第四銀行と北越銀行の合併	120 分
10	卸・小売業	講義の復習 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働	120 分

11	電気・ガス、再生可能エネルギー	講義の復習 新潟県の観光地と観光活性化策	120 分
12	不動産・運輸・情報通信業	講義の復習 現在の新潟県の景気	120 分
13	観光業・宿泊業・飲食業	講義の復習 政府の景気判断	120 分
14	新潟県の上場企業・新興企業	講義の復習 アベノミクス	120 分
15	講義のまとめ（県民経済計算）	講義の復習 期末試験に向けた準備学習	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。 ・ 毎回講義中に課題・問題を出すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。 ・ 前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
平成 15（2003）年 3 月～平成 24（2012）年 6 月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、新潟県経済の調査分析および業界動向等の調査レポート作成業務に従事した。
実務経験と授業科目との関連性
県内経済の動向調査、様々な業種のレポート作成に携わった経験を生かし、県内経済・産業の特徴について、具体的な企業の紹介等を交えつつ分かりやすく説明する。